

会員同士の親睦を深める

金融課

年金友の会（鷺尾一会長）の親睦旅行が9月4日から1泊2日で行われ、会員28人が参加し、山形県を訪れました。

初日は、(株)ヤマダフーズでの納豆工場見学や羽後町の道の駅「端縫いの郷」で買い物を楽しみました。宿泊先の山形県の瀬見温泉では、山の幸や海の幸を味わい皆で楽しい時間を過ごしました。2日目は羽黒山頂三神祭殿や羽黒山・国宝五重塔に足を運び、屋根の厚みだけで2.1mもある祭殿に会員らは圧倒されていました。参加者からは「天気も良くとても楽しい旅行でした。また来年も参加したい」といった喜びの声が聞かれました。



▲宿泊先の瀬見温泉で記念撮影



▲年金受給について説明する中村先生（左）

老後設計の手助けとして年金相談会を開催

金融課

年金の仕組みや受給にあたっての具体的な手続きの相談の場として、9月1日、2日の2日間にわたり、JAの各支店で年金相談会を開きました。

このうち、のしろ東支店で開かれた相談会には、約10人が相談に訪れ、社会保険労務士の中村浩三さんが対応しました。年金受給年齢が近くなったという相談者は、請求書が届いてからの流れや年金を請求する際に必要な書類の説明などを聞き、先生の丁寧な説明で疑問点を解消していました。JAでは本店・各支店で年金相談を受け付けておりますので、ご不明な点やご相談がある方は、ぜひ窓口までお越しください。

窓口担当者が接客技術を競い合う

JAバンクあきた

JAバンクあきたアカデミー窓口コンテストが9月15日、秋田市で開かれ、県内13JAから13組（2人1組）が参加しました。

当JAからはのしろ東支店の大塚英樹支店長と菊池美穂子さんが出場し、「口座を開設したい」という来店者へ身分証明書等の確認の事務処理やJAの商品を勧める設定でロープレが行われました。審査の結果、事務処理の堅確性で満点を取るなどして見事奨励賞を受賞しました。菊池さんは「普段通りを心がけ、落ち着いて対応ができました。今後も接客や事務処理のレベルアップに向け業務に励んでいきます」と話してくれました。



▲丁寧な対応をする菊池窓口担当（中）



▲熱戦が展開された野球大会

向能代ファイターズ惜敗

JA共済

児童の体力向上と健全なスポーツ精神の育成を目的とした、第16回JA共済学童野球大会が9月8日と9日の2日間にわたって秋田市で開かれ、県内14JAの代表が熱戦を繰り広げました。

当JAからは、7月の予選で全県大会への切符を手にした、向能代ファイターズが出場しました。初戦は八竜ジュニア（JA秋田やまもと）と対戦。試合は2回に1点、4回に3点を取られる厳しい展開となりました。向能代ファイターズも3塁打などでチャンスを作りましたが、相手投手を打ち崩すことができず4対0で敗れ、惜しくも初戦突破とはなりませんでした。